

県図なう。

令和5年5月15日
第146号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者をつなぐ情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース

「親子読書研修会」

令和5年度のテーマは……
「親子読書のあゆみ
～思いをつなぐ『宝本』～」



[昨年度の様子]

県立図書館では、親子読書の進め方や親子読書活動の在り方等についての研修会を開催しています。

令和5年度は、南九州市立川辺図書室親子読書会、読書ボランティアグループ「虹色のゆめ」(出水市)の実践発表と学校図書館のコーディネーターとしても活動されている児童文学評論家の赤木かん子先生の講演を予定しています。どなたでもご参加いただけます。ぜひ、皆様の御参加をお待ちしております。

【日時】 令和5年6月25日(日) 13:00～16:00
【場所】 かごしま県民交流センター 県民ホール
【申込み】 6月14日(水)まで



↑電子申請はこちら

鹿児島県立図書館のホームページや電子申請でお申し込みいただけます。お問合せは☎099-224-9514(奉仕課企画指導係)へ

図書館で探そう、調べよう!

「高齢者の年代別の収支」を調べたい

「高齢者の年代別の収入と支出を知りたい。」というお問い合わせがありました。図書館にはさまざまな白書や統計書が所蔵されています。高齢者の……ということで、最初に浮かんだのが、『高齢社会白書』(内閣府/編集)でした。「就業・所得」の項目には、60～69歳、70歳以上の年間収入が記載されていましたが、支出については記載がありませんでした。

次に確認した資料は、『家計調査年報』(総務省統計局/編集)です。その中でも、『家計調査年報 家計収支編』(総務省統計局/編集)には、家計の消費や収入の概況、統計資料や家計調査の概要等の参考資料が掲載されています。令和3年発行のものを確認すると、お尋ねのあった「高齢者の年代別の収入と支出」に当たるものとして、「<参考4>65歳以上の無職世帯の家計収支(二人以上の世帯・単身世帯)」の項目の「表1 二人以上の世帯のうち65歳以上の無職世帯の家計収支—2021年—」がありました。「世帯主の年齢階級」が「65～69歳」「70～74歳」「75歳以上」とあり、「実収入」や「消費支出」などがありました。御依頼では、遡って調査をしたいということでしたので、5年分ほどを提供しました。

さて、この資料には、他にも県庁所在市別の世帯当たりの年間の品目別支出金額、購入数量などがあります。対象項目は「ハンバーグ」「やきとり」「眼鏡」「バス代」など、幅広く興味深い内容です。普段なかなか見る機会のない統計資料ですが、開いてみると意外な情報が見つかるかもしれません。

《一般図書》5月12日(金)

新書図書案内

《児童図書》5月23日(火)

- 『クセになる禅問答』 山田 史生/著 ダイアモンド社
- 『東大生が教える戦争超全史』 東大カルペ・ディエム/著 ダイアモンド社
- 『母の味、だいたい伝授』 阿川 佐和子/著 新潮社
- 『腐海創造』 竹谷 隆之/著 徳間書店
- 『ゴリラ裁判の日』 須藤 古都離/著 講談社
- 『ちいさなふたりのいえさがし』 たかお ゆうこ/作 福音館書店
- 『おとな体験授業?』 なかがわ ちひろ/作 アリス館
- 『そんなわけで都道府県できちゃいました!図鑑』 粟生 こずえ/文 主婦の友社
- 『マンボウ、空を飛ぶ』 吉野 万理子/作 講談社
- 『つる子さんからの奨学金』 まはら 三桃/作 偕成社

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
5月2日(火)～5月31日(水)
「大切な健康」
新型コロナウイルスの分類が2類から5類に変わります。そんな今だからこそ、“健康”について考えてみませんか。
- 児童文化室ミニ展示
5月23日(火)～6月22日(木)
「雨でもへっちゃら!」
にわか雨、天気雨、雨の日はどのように過ごしますか。「雨」をテーマにした本を紹介いたします。梅雨の季節を楽しみましょう。

図書館職員のつぶやき

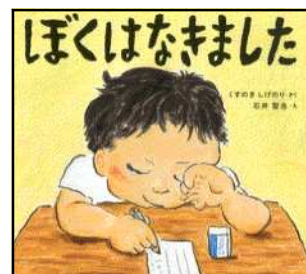
図書館の本は、閲覧室の書架に並んでいる本だけではありません。図書館には「書庫」があります。新刊が並べば書庫に移動する本があり、書庫の所蔵冊数は、一般図書・児童図書合わせておよそ77万冊(R5年3月末時点)です。お探しの本が書庫内であれば、職員が書庫にずらりと並ぶ本棚からその一冊を探し出し、皆様にお届けします。図書館で催し物がある際にバックヤードツアーが企画されることがあります。その際はぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。鹿児島県随一の“保存図書館”である所以を実感されることでしょうか。室町時代からの貴重資料や戦時中、椋鳩十(久保田彦穂)館長の対処で焚書を免れた「追放図書」等、その時代を生きた人々が残した思いや記録が静かに“名前を呼ばれる時”を待っています。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、くすのき しげのり/さく、石井聖岳/えの『ぼくはなきました』(東洋館出版社)です。

ぼくは、小学一年生のときに、この本をおかあさんによんでもらい、今は自分でなんどもよんでいます。自分のいいところが見つからずになきそうになったとき、先生がみつめてくれて、わらっていえにかえるさいごのページが大すきです。

家族からのひと言「おこだてませんように」を図書室で借りてきて、何度も読んでと言って一緒に読んでいましたが、きっとこの本も何か感じてくれるだろうと思ったのと、私自身も気に入り、新しく家に迎え入れました。自分のよさは自分では気付けないということが、子どもだけではなく大人も考えさせられる話でした。



図書館クイズ

にじいろのほん『おんなじおんなじ』
ただひろし/著(こぐま社)からのクイズです。

ぶうの ぼけっとから ころ ころ
なあに?
①とり ②かえる ③こま

ヒント
まわして あそぶよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、6月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「①うみ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
5月	7	8	9	10★	11	12◇	13
	14	15	16	17★	18	19	20◆
	21	22	23	24★	25○	26	27
	28	29	30	31★	1	2	3
6月	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14★	15◇	16	17◆

- 開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日(白抜)：9時～17時
- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(5月12日、31日、6月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(5月23日)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。